

乙訓青年会議所は、私達の先輩諸兄が郷土愛を再認識し、自らの研鑽を通じて友情を深め、明るい豊かな社会の実現を目指し設立されました。そして現在に至るまで奉仕・修練・友情を三信条として切磋琢磨しながら活動を続けて来られ、本年度35周年を迎えます。私達現役メンバーはこの歴史や伝統、想いをしっかりと受け継ぎ、どんな困難にも負けず揺るぎない不動の心で、未来の明るい豊かな乙訓への原動力となり活動し、次代に継承して行かなければなりません。

現在、日本の多くの家庭は、かつての大家族ではなく、夫婦と子どもだけの核家族が増え、さらにゲーム機やインターネット等の普及により、子ども達は地域の様々な年代の人々と直接触れ合う機会が少なくなっています。また、少年非行や不登校問題、学級崩壊などが問題となっており、その原因は親や大人が大きく関わっていると考えます。

本年度、青少年育成委員会では、人を敬い和を大切にし、道徳心を養い慈愛の心を持って活動して参ります。私達が子どもの模範となり背中を見せる事で、青少年の健全な育成を行い、明るい豊かな乙訓の実現を目指します。まずは、小学1年生から6年生までを対象に、各委員会と協力し乙訓文化少年団を開催致します。そして子ども達が、学校では出来ない体験を通じて団体行動の中で養える協調性や規律、愛郷心や仲間に対する優しさや思いやりを持つといった、心豊かな人間性を育くめる事業を行います。さらに私達大人が自分自身を見つめ直し律する事で、メンバー自身の成長に繋げていきます。また、5月オープン例会では、乙訓の未来とも言うべき子ども達の健全な育成の為に、私達大人が今一度道徳心を養い、慈愛の心を持って子ども達とコミュニケーションを図る必要性をお伝えします。そして子ども達に夢を持ってもらう大切さを、地域の皆様と共に学ぶ例会を開催致します。さらにケイジャーズカップでは、子ども達が試合に集中して熱闘が繰り広げられるよう実行委員会と連携協力し、大会運営を行います。また、乙訓ふるさとふれあい駅伝では大会委員会と連携して、子ども達がレースに集中して全力を尽くせるよう大会運営を行います。そして35周年記念式典及び記念事業、まちづくり事業への参加協力も「和敬清寂」の心で委員会メンバー一丸となり取り組みます。さらに私達が行う事業を遂行し、明るい豊かな社会の実現を達成するには多くの同志が必要であり、会員拡大委員会と連携協力する事で、会員拡大活動を進めて参ります。

最後に青少年育成委員会は、もう己利他の精神を持ってあらゆる事業に率先して取り組み、感謝の気持ちを常に伝え一年間活動して参ります。人はどうしても自分を中心に考えてしまいがちですが、己を忘れて他を利する行動により感謝の気持ちもより大きくなり、自ら成長していきます。乙訓の未来とも言うべき子ども達も、その様な大人の背中を見て乙訓や他人の為に尽くせる大人に成長し、思いやりが溢れる明るい豊かな乙訓に繋げて参ります。